



NIPPON PROFESSIONAL BASEBALL ORGANIZATION
MITA BELLJU BLDG. 11F,
5-36-7, SHIBA, MINATO-KU,
TOKYO, JAPAN 108-0014
TEL:03-6400-1189 FAX:03-6400-1190

ココロ動く、未来へ。
スカパー!

報道関係各位
プレスリリース

2022年12月13日
日本プロフェッショナル野球組織
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパー J S A T 株式会社

2022 スカパー !ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞 丸山和郁選手(東京ヤクルトスワローズ)と宗佑磨選手(オリックス・バファローズ) に決定!

セントラル、パシフィック両リーグが第三者公式表彰として制定しておりますスカパー !ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞(協賛:スカパーJSAT株式会社、以下「本賞」)の今年度の受賞選手が、セ・リーグは東京ヤクルトスワローズの丸山和郁選手、パ・リーグはオリックス・バファローズの宗佑磨選手に決定いたしました。

本賞は、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打などを放った選手(セ・パ各1名)に贈られる賞です。「最後の一球まで何が起こるかわからない」と言われる野球というスポーツの象徴的なプレーであるサヨナラ打を称える本賞は、プロ野球全12球団公式戦全試合を放送し、ファンのみなさまの胸が熱くなるゲームを最後までお届けしているスカパー !の想いと連動した賞であり、昨年に引き続き、月間「スカパー !サヨナラ賞」の全12プレー中から、ファン投票により選出されました。

受賞両選手にはそれぞれオリジナルトロフィーと賞金200万円が贈られます。



「2022 スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」 受賞選手

セントラル・リーグ

まるやま かずや

丸山 和 郁 選手（東京ヤクルトスワローズ）

～リーグ連覇を決める自身初のサヨナラ打～

丸山和選手は、9月25日（日）神宮球場で行われた対横浜DeNA24回戦、0対0で迎えた9回裏、一死二塁の場面で左中間へサヨナラ二塁打を放った。

優勝へのマジックナンバーを「2」とした東京ヤクルトとマジック対象チームとの注目の一戦は、両先発の意地がぶつかる投手戦となった。

東京ヤクルト・小川投手が6回を投げ、2安打無失点でマウンドを降りると、横浜DeNA・今永投手は7回を投げ、3安打11奪三振、無失点と両投手とも気迫の投球を見せた。0対0で迎えた9回表、マクガフ投手が3者凡退に抑え流れを引き寄せると、その裏、先頭打者のオスナ選手が内野安打で出塁し、続く中村選手がバントで送り、一死二塁のチャンスを作る。打席には8回途中からライトの守備についた丸山和選手。

1ボールからの2球目を強振すると、打球は左中間を破り、代走の塩見選手が一気にホームイン。

自身初となるサヨナラ安打は、チームのリーグ連覇を決定する一打となった。

パシフィック・リーグ

むね ゆうま

宗 佑 磨 選手（オリックス・バファローズ）

～首位ソフトバンクに3連勝、ゲーム差なしとするサヨナラ打～

宗選手は、9月19日（月）京セラドーム大阪で行われた対福岡ソフトバンク25回戦、同点で迎えた延長10回裏、二死満塁の場面でセンターへサヨナラ安打を放った。

オリックスは吉田正選手の2点本塁打などで3回までに4点リード。しかし4回表に3点を返されると、6回に投手陣が踏ん張り切れず逆転を許してしまう。試合はそのまま進み、1点ビハインドで迎えた9回裏二死一、二塁の場面で、吉田正選手がライトへの同点タイムリーを放ち、試合は延長へ。10回裏、オリックスは無死満塁と絶好のチャンスを作るが、後続が倒れ、二死満塁となる。打席にはこの試合2安打の宗選手。2球目の速球を強振すると打球は二遊間を抜け、サヨナラ適時打となった。

この勝利でチームは首位福岡ソフトバンクとの直接対決に3連勝し、ゲーム差なしに肉薄。リーグ連覇を目指すチームを勢いづける価値ある一打となった。



【JERA セントラル・リーグ公式戦 2022 サヨナラ試合一覧 全29試合】

	試合日		勝利打点選手 (サヨナラ打者)	所属	対戦相手	球場	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前スコア	走者	シーズン 個人回数	備考
1	3月29日	(火)	西川	広島東洋	阪神	マツダスタジアム	3x-2	右越安②	9回	1-2	1死満塁	①	逆転
2	4月2日	(土)	村上	東京ヤクルト	横浜DeNA	神宮球場	3x-2	右越2①	10回	2-2	無死1・2塁	①	
3	4月2日	(土)	岡林	中日	広島東洋	バンテリンドーム	4x-3	二安①	12回	3-3	1死3塁	①	
4	4月9日	(土)	立岡	巨人	東京ヤクルト	東京ドーム	3x-2	右越本①	10回	2-2	1死無走者	①	
5	4月13日	(水)	大島	中日	阪神	バンテリンドーム	1x-0	右越安①	10回	0-0	1死1・2塁	①	
6	4月20日	(水)	ソト	横浜DeNA	阪神	横浜スタジアム	1x-0	右越本①	10回	0-0	無死無走者	①	
7	4月24日	(日)	小園	広島東洋	横浜DeNA	マツダスタジアム	5x-4	中犠飛①	10回	4-4	1死満塁	①	
8	5月5日	(木)	山本	阪神	東京ヤクルト	甲子園球場	3x-2	四球①	9回	2-2	2死満塁	①	
9	5月6日	(金)	石川昂	中日	阪神	バンテリンドーム	1x-0	中前安①	10回	0-0	1死満塁	①	
10	5月7日	(土)	西川	広島東洋	横浜DeNA	マツダスタジアム	2x-1	右越本①	10回	1-1	2死無走者	②	
11	5月17日	(火)	中島	巨人	広島東洋	宇都宮	3x-2	左越安②	9回	1-2	無死満塁	①	逆転
12	5月17日	(火)	オスナ	東京ヤクルト	阪神	神宮球場	2x-1	右犠飛①	9回	1-1	1死2・3塁	①	
13	5月24日	(火)	村上	東京ヤクルト	北海道日本ハム	神宮球場	3x-1	中越本②	11回	1-1	2死1塁	②	
14	5月25日	(水)	山崎	東京ヤクルト	北海道日本ハム	神宮球場	7x-6	右越本③	9回	4-6	無死2・3塁	①	逆転
15	6月18日	(土)	A.マルティネス	中日	巨人	バンテリンドーム	4x-3	中前安①	9回	3-3	無死1・3塁	①	



【JERA セントラル・リーグ公式戦 2022 サヨナラ試合一覧 全29試合】

	試合日		勝利打点選手 (サヨナラ打者)	所属	対戦相手	球場	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前スコア	走者	シーズン 個人回数	備考
16	6月21日	(火)	三ツ俣	中日	東京ヤクルト	バンテリンドーム	2x-1	左前安①	10回	1-1	2死満塁	①	代打
17	6月22日	(水)	宇草	広島東洋	阪神	マツダスタジアム	5x-4	右中本①	11回	4-4	2死無走者	①	
18	6月26日	(日)	熊谷	阪神	中日	甲子園球場	6x-5	中越安①	11回	5-5	2死2・3塁	①	
19	6月30日	(木)	嶺井	横浜DeNA	阪神	横浜スタジアム	6x-5	右前安①	9回	5-5	2死1・2塁	①	
20	7月2日	(土)	塩見	東京ヤクルト	横浜DeNA	神宮球場	2x-1	三安①	10回	1-1	1死満塁	①	
21	7月2日	(土)	マクブルーム	広島東洋	巨人	マツダスタジアム	2x-0	右中本②	9回	0-0	無死1塁	①	
22	7月6日	(水)	吉川	巨人	東京ヤクルト	東京ドーム	4x-3	左中2①	10回	3-3	2死1・2塁	①	
23	7月16日	(土)	-	横浜DeNA	東京ヤクルト	横浜スタジアム	3x-2	-	9回	2-2	1死1塁	-	
24	8月3日	(水)	宮崎	横浜DeNA	広島東洋	横浜スタジアム	6x-5	右前安①	11回	5-5	1死満塁	①	
25	8月6日	(土)	秋山	広島東洋	阪神	マツダスタジアム	6x-5	右前安①	9回	5-5	1死2塁	①	
26	8月9日	(火)	大田	横浜DeNA	阪神	横浜スタジアム	3x-2	左前安①	9回	2-2	2死1・3塁	①	代打
27	8月17日	(水)	松山	広島東洋	中日	マツダスタジアム	1x-0	左中2①	11回	0-0	2死2塁	①	代打
28	8月19日	(金)	土田	中日	東京ヤクルト	バンテリンドーム	4x-3	右前安①	9回	3-3	無死満塁	①	
29	9月25日	(日)	丸山和	東京ヤクルト	横浜DeNA	神宮球場	1x-0	左中2①	9回	0-0	1死2塁	①	



【2022 パシフィック・リーグ 公式戦 サヨナラ試合一覧 全30試合】

	試合日	勝利打点選手 (サヨナラ打者)	所属	対戦相手	球場	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前スコア	走者	個人回数	備考
1	3月27日 (日)	田中和	東北楽天	千葉ロッテ	楽天生命パーク	6x-5	中越2①	11回	5-5	2死2塁	①	
2	4月1日 (金)	佐藤都	千葉ロッテ	埼玉西武	ZOZOマリン	2x-1	右犠飛①	10回	1-1	1死満塁	①	
3	4月6日 (水)	宇佐見	北海道日本ハム	千葉ロッテ	札幌ドーム	3x-2	左線安①	9回	2-2	無死1・3塁	①	
4	4月10日 (日)	近藤	北海道日本ハム	東北楽天	札幌ドーム	3x-2	右中2①	10回	2-2	1死2塁	①	
5	4月21日 (木)	紅林	オリックス	福岡ソフトバンク	京セラD大阪	3x-2	左前安①	11回	2-2	2死2塁	①	
6	4月23日 (土)	-	オリックス	千葉ロッテ	京セラD大阪	3x-2	-	11回	2-2	1死1・3塁	-	
7	4月29日 (金)	宗	オリックス	埼玉西武	京セラD大阪	1x-0	左前安①	9回	0-0	1死1・3塁	①	
8	4月30日 (土)	浅村	東北楽天	福岡ソフトバンク	楽天生命パーク	7x-6	右越安①	11回	6-6	2死2・3塁	①	
9	5月18日 (水)	マーティン	千葉ロッテ	東北楽天	ZOZOマリン	1x-0	右越本①	10回	0-0	無死無走者	①	
10	5月29日 (日)	栗山	埼玉西武	横浜DeNA	ベルーナドーム	3x-2	右越本①	9回	2-2	無死無走者	①	代打
11	6月8日 (水)	浅村	東北楽天	広島東洋	楽天生命パーク	1x-0	中越2①	10回	0-0	1死2塁	②	
12	6月10日 (金)	谷内	北海道日本ハム	中日	札幌ドーム	2x-1	中越2①	11回	1-1	2死2塁	①	
13	6月18日 (土)	周東	福岡ソフトバンク	東北楽天	PayPayドーム	3x-1	右越本②	10回	1-1	1死1塁	①	
14	6月22日 (水)	島内	東北楽天	北海道日本ハム	盛岡	6x-3	右越本③	9回	3-3	2死1・2塁	①	
15	6月26日 (日)	高部	千葉ロッテ	オリックス	ZOZOマリン	3x-2	右前安①	11回	2-2	2死2塁	①	



NIPPON PROFESSIONAL BASEBALL ORGANIZATION

MITA BELLJU BLDG. 11F,
5-36-7, SHIBA, MINATO-KU,
TOKYO, JAPAN 108-0014
TEL:03-6400-1189 FAX:03-6400-1190

ココロ動く、未来へ。
スカパー!

【2022 パシフィック・リーグ 公式戦 サヨナラ試合一覧 全30試合】

試合日	勝利打点選手 (サヨナラ打者)	所属	対戦相手	球場	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前スコア	走者	個人回数	備考
16 7月5日 (火)	荻野	千葉ロッテ	北海道日本ハム	ZOZOマリン	2x-1	左前安①	10回	1-1	1死3塁	①	
17 7月21日 (木)	高部	千葉ロッテ	埼玉西武	ZOZOマリン	5x-4	右前安①	9回	4-4	1死満塁	②	
18 8月4日 (木)	中村	埼玉西武	オリックス	ベルーナドーム	3x-2	左中本①	9回	2-2	1死無走者	①	
19 8月5日 (金)	川越	埼玉西武	千葉ロッテ	ベルーナドーム	4x-3	右越本①	10回	3-3	無死無走者	①	
20 8月9日 (火)	近藤	北海道日本ハム	埼玉西武	札幌ドーム	5x-3	右越本③	9回	2-3	無死1・2塁	②	逆転
21 8月11日 (木)	清水	北海道日本ハム	埼玉西武	札幌ドーム	3x-2	左前安①	10回	2-2	2死1・2塁	①	
22 8月12日 (金)	岡	千葉ロッテ	北海道日本ハム	ZOZOマリン	3x-2	左前安①	9回	2-2	1死2・3塁	①	
23 8月13日 (土)	周東	福岡ソフトバンク	オリックス	PayPayドーム	5x-4	右越本①	9回	4-4	1死無走者	②	
24 8月25日 (木)	三木	千葉ロッテ	埼玉西武	ZOZOマリン	6x-5	遊安①	9回	5-5	1死満塁	①	
25 9月3日 (土)	銀次	東北楽天	北海道日本ハム	楽天生命パーク	5x-4	四球①	10回	4-4	2死満塁	①	代打
26 9月15日 (木)	若月	オリックス	北海道日本ハム	京セラD大阪	3x-2	右越2①	12回	2-2	1死2塁	①	代打
27 9月17日 (土)	上川畑	北海道日本ハム	千葉ロッテ	札幌ドーム	5x-4	左前安①	9回	4-4	2死2・3塁	①	
28 9月19日 (月)	宗	オリックス	福岡ソフトバンク	京セラD大阪	6x-5	中前安①	10回	5-5	2死満塁	②	
29 9月30日 (金)	福田	オリックス	千葉ロッテ	京セラD大阪	4x-3	一バ安①	9回	3-3	2死3塁	①	
30 10月1日 (土)	山川	埼玉西武	福岡ソフトバンク	ベルーナドーム	3x-1	左越本②	11回	1-1	2死1塁	①	



【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞 歴代受賞選手】

年度	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009	亀井 義行(読売ジャイアンツ)	井口 資仁(千葉ロッテマリーンズ)
2010	天谷 宗一郎(広島東洋カープ)	小久保 裕紀(福岡ソフトバンクホークス)
2011	長野 久義(読売ジャイアンツ)	松田 宣浩(福岡ソフトバンクホークス)
2012	和田 一浩(中日ドラゴンズ)	中田 翔(北海道日本ハムファイターズ)
2013	長野 久義(読売ジャイアンツ)	浅村 栄斗(埼玉西武ライオンズ)
2014	福留 孝介(阪神タイガース)	松田 宣浩(福岡ソフトバンクホークス)
2015	雄平(東京ヤクルトスワローズ)	柳田 悠岐(福岡ソフトバンクホークス)
2016	鈴木 誠也(広島東洋カープ)	吉村 裕基(福岡ソフトバンクホークス)
2017	宮崎 敏郎(横浜DeNAベイスターズ)	栗山 巧(埼玉西武ライオンズ)
2018	下水流 昂(広島東洋カープ)	森 友哉(埼玉西武ライオンズ)
2019	高山 俊(阪神タイガース)	鈴木 大地(千葉ロッテマリーンズ)
2020	西浦 直亨(東京ヤクルトスワローズ)	井上 晴哉(千葉ロッテマリーンズ)
2021	坂倉 将吾(広島東洋カープ)	岡 大海(千葉ロッテマリーンズ)



【月間「スカパー！サヨナラ賞」歴代受賞選手】

2012年度より「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」に加え、月間賞として 月間「スカパー！サヨナラ賞」を制定しております。

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	中村紀洋(横浜DeNA)	田中賢介(北海道日本ハム)
5月	森野将彦(中日)	A. バルディリス(オリックス)
6月	和田一浩(中日)	M. ホフパワー(北海道日本ハム)
7月	石原慶幸(広島東洋)	栴田慎太郎(東北楽天)
8月	阿部慎之助(巨人)	柳田悠岐(福岡ソフトバンク)
9月	新井良太(阪神)	松井稼頭央(東北楽天)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	福留孝介(阪神)	松田宣浩(福岡ソフトバンク)
5月	畠山和洋(東京ヤクルト)	浅村栄斗(埼玉西武)
6月	M. マートン(阪神)	高橋信二(オリックス)
7月	丸佳浩(広島東洋)	嶋基宏(東北楽天)
8月	長野久義(巨人)	浅村栄斗(埼玉西武)
9月	石原慶幸(広島東洋)	片岡治大(埼玉西武)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	B. エルドレッド(広島東洋)	A. ジョーンズ(東北楽天)
5月	梵英心(広島東洋)	加藤翔平(千葉ロッテ)
6月	嶺井博希(横浜DeNA)	今宮健太(福岡ソフトバンク)
7月	福留孝介(阪神)	斉藤彰吾(埼玉西武)
8月	J. ロペス(巨人)	田村龍弘(千葉ロッテ)
9月	T. ブランコ(横浜DeNA)	松井稼頭央(東北楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	平田良介(中日)	松田宣浩(福岡ソフトバンク)
5月	福留孝介(阪神)	中川大志(東北楽天)
6月	井端弘和(巨人)	吉田裕太(千葉ロッテ)
7月	藤井淳志(中日)	中村剛也(埼玉西武)
8月	坂本勇人(巨人)	柳田悠岐(福岡ソフトバンク)
9月	中村悠平(東京ヤクルト)	B. レアード(北海道日本ハム)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	杉山翔大(中日)	吉村裕基(福岡ソフトバンク)
5月	坂本勇人(巨人)	井口資仁(千葉ロッテ)
6月	鈴木誠也(広島東洋)	B. レアード(北海道日本ハム)
7月	筒香嘉智(横浜DeNA)	B. レアード(北海道日本ハム)
8月	脇谷亮太(巨人)	森友哉(埼玉西武)
9月	J. ギャレット(巨人)	細谷圭(千葉ロッテ)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	鵜久森淳志(東京ヤクルト)	聖澤 諒(東北楽天)
5月	荒木貴裕(東京ヤクルト)	駿太(オリックス)
6月	亀井善行(巨人)	福田秀平(福岡ソフトバンク)
7月	大松尚逸(東京ヤクルト)	J. アマダー(東北楽天)
8月	宮崎敏郎(横浜DeNA)	栗山 巧(埼玉西武)
9、10月	安部友裕(広島東洋)	A. デスパイネ(福岡ソフトバンク)



【月間「スカパー！サヨナラ賞」歴代受賞選手】

2012年度より「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」に加え、月間賞として 月間「スカパー！サヨナラ賞」を制定しております。

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	下水流昂(広島東洋)	森友哉(埼玉西武)
5月	山下幸輝(横浜DeNA)	清田育宏(千葉ロッテ)
6月	山田哲人(東京ヤクルト)	上林誠知(福岡ソフトバンク)
7月	下水流昂(広島東洋)	山下斐紹(東北楽天)
8月	鈴木誠也(広島東洋)	Y. グラシアル(福岡ソフトバンク)
9、10月	上田剛史(東京ヤクルト)	中島宏之(オリックス)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	青木宣親(東京ヤクルト)	中田翔(北海道日本ハム)
5月	高山俊(阪神)	辰己涼介(東北楽天)
6月	原口文仁(阪神)	鈴木大地(千葉ロッテ)
7月	Y. ソラーテ(阪神)	中村剛也(埼玉西武)
8月	石川慎吾(巨人)	清田育宏(千葉ロッテ)
9月	N. ソト(横浜DeNA)	E. メヒア(埼玉西武)

2020年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
6、7月	西浦直亨(東京ヤクルト)	A. ロドリゲス(オリックス)
8月	上本崇司(広島東洋)	山川穂高(埼玉西武)
9月	吉川尚輝(巨人)	茂木栄五郎(東北楽天)
10、11月	高橋周平(中日)	井上晴哉(千葉ロッテ)

2021年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	亀井善行(巨人)	岡大海(千葉ロッテ)
5月	岡本和真(巨人)	該当者なし
6月	大和(横浜DeNA)	T-岡田(オリックス)
7、8月	大山悠輔(阪神)	高濱祐仁(北海道日本ハム)
9月	坂倉将吾(広島東洋)	B. レアード(千葉ロッテ)
10、11月	山田哲人(東京ヤクルト)	岡大海(千葉ロッテ)

2022年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	西川龍馬(広島東洋)	浅村栄斗(東北楽天)
5月	山崎晃大朗(東京ヤクルト)	栗山巧(埼玉西武)
6月	宇草孔基(広島東洋)	島内宏明(東北楽天)
7月	R. マクブルーム(広島東洋)	高部瑛斗(千葉ロッテ)
8月	秋山翔吾(広島東洋)	近藤健介(北海道日本ハム)
9、10月	丸山和都(東京ヤクルト)	宗佑磨(オリックス)